

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成27年 8月31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府亀岡市西別院町笑路落合4番の3	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 京都製錬所 代表取締役 大林智実

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004 (JIS Q 14001:2004) /
適用範囲	株式会社京都製錬所 /
導入年月日	2007年 5月 28日 /
認証番号	EC07J0031 /
基本方針	別紙の通り、「基本理念・環境労働安全衛生方針」
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所電気使用量維持 (19,500kwh/年)</li> <li>・車両燃費の維持 (4km/l)</li> <li>・重油使用量の維持 (月:16kl)</li> <li>・廃プラスチックの再生率維持 (年3%)</li> <li>・熱還元剤 (カタンコロ) 削減 (年0.5%)</li> </ul>
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所電気使用量維持:空調温度の管理・照明の使用管理・機器の使用管理・器具の整備</li> <li>・車両燃費の維持:定速走行の推進、急ブレーキの減少、急加速・急発進の禁止、エンジンブレーキを活用した穏やかな運転の励行、空吹かしの禁止、アイドリングストップ</li> <li>・重油使用量の維持:重油バーナーの使用時間を短くする・重油バーナーの定期点検・補修</li> <li>・廃プラスチックの再生率維持:プラスチックの回収率向上するため解体機に箱電池を投入する際、形状や大きさを合わせる。(作業効率上、若干の大小は可とする。)・解体機内部(ハンマークリアランス隙間)を毎週作業開始前に清掃しプラスチックの解体形状を均一</li> <li>・熱還元剤(カタンコロ)削減:カタンコロの投入割合を徹底する。</li> </ul>
目標を達成するための取組の進捗状況	実施計画書兼報告書に基づいて、目標を達成する様サイト責任者より、昨年度から引き継ぎ世界的に鉛の需要が増え商社等より受注が相次ぎ増産体制が継続中。目標達成が困難の為、昨年度末に目標値の変更を行った。このことにより、目標は達成出来ている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	3ヶ月に1度、目標の達成状況及び評価をしている。未達成の場合は是正処置を行い、未達成の原因究明をし、改善している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について3ヶ月に1回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、認証機関において1年に1回、年度末にサーベイランス審査を行っている。前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。